

## お知らせ

### 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の症例発生について

25. 2. 13  
健康増進課  
(内線2402)

先般、新しいダニ媒介性疾患「重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS）」の症例が、国内で初めて確認されたことを受けて、医療機関に対して、同様の患者を診察した場合は情報提供して欲しいとの協力要請が厚生労働省からあったところです。

今般、県内医療機関からの報告で、県内の成人男性1名(昨秋に死亡、直近の海外渡航歴なし。)についてSFTSであったことが、国立感染症研究所の検査により確認されましたので、お知らせします。

厚生労働省では、この件を、各都道府県にも情報提供するとともに、引き続き、本疾患に関する情報収集や調査研究を実施するとしており、本県も適切に協力してまいります。

今回の症例に係る感染経路については分かっていませんが、マダニによる咬傷が主な感染経路と言われておりますので、特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけて注意が必要です。

#### 【予防方法】

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に感染しないようにするためには、マダニに咬まれないようにすることが重要です。草むらや藪など、マダニの生息する場所に入る場合には、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌を露出しないようにしましょう。

また、屋外活動後はマダニに刺されていないか確認し、吸血中のマダニに気がついた際には、できるだけ医療機関で処置するとともに、マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合には、医療機関を受診してください。

(参考)

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について（厚生労働省ホームページ）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/>